

氏名	三 浦 成 昭
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 205 号
学位授与の日付	昭和42年 3 月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	脳性小児麻痺直型四肢麻痺両下肢麻痺の下肢の特長について
論文審査委員	教授 児玉俊夫 教授 田中早苗 教授 砂田輝武

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

30例の直型脳性小児麻痺の下肢について、股、膝、足関節と筋群について検査した。股関節のレ線像では、外反股、大腿骨頭前捻角の増大、脱臼率の大きさ、臼蓋および骨頭の異常があり、股運動は内外旋が著明に障害されており、筋のこわばりは内転筋群にもっとも強くみられ、膝関節では完全伸展可能なものが少く、内側 Hamstring のこわばりが強く、足関節では背屈筋の随意性の乏しさと下腿三頭筋のこわばりや拘縮の為尖足が多くみられた。運動は全体として緩徐で全運動範囲を動かすものは少く、運動年齢テストでみると36月が関所になっており、歩容は狭みあしがもっとも多い。

以上の特長を詳細に説明するとともに治療法についても簡単に述べた。

論文審査の結果の要旨

脳性小児麻痺の諸型のうちで痙直型では観血的手術によりその機能がある程度改善されるようになった。しかしその臨床症状は十分検査把握されてなければならない。三浦は30名の対照児を臨床的に長期間追跡し、臨床症状と手術成績とを解明した。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。